



おしたちあき

## 尾下千明さんから

### 図書購入費をいただきました

尾下さんご本人は本校の卒業生ではないのですが、亡くなった奥さんの加代子さんが、本校の卒業生だそうです。これまでも図書費をいただいております。約300冊の本を購入し、尾下文庫を設置しています。

今回新たに図書費をくださるということで、図書委員の1・2年生も出席し、贈呈式を行いました。尾下さんのお話から、奥さんと、奥さんが青春を過ごした竹田高校への愛を感じました。

ぜひ、みなさんも、感謝の気持ちで尾下文庫の本を手にとってください。



尾下文庫の前で贈呈式を行いました。図書委員長の工藤千妃呂さんが、学校を代表し、しっかりとお礼を伝えてくれました！

あかがみりょう

がらす

## 赤神諒さんの小説『はぐれ鴉』×竹高書道部！

岡藩をモデルにした時代小説・『はぐれ鴉』が、「小説すばる」（集英社）において、2020年4月号より全9回の予定で連載されています。著者の赤神諒さんは大分県に縁のある歴史小説を多数執筆されている方です。

全国的な小説誌である「小説すばる」に連載されている『はぐれ鴉』ですが、小説のタイトルの字を手掛けるのは、本校書道部の生徒です。各話ごとに違う部員が書く迫力ある題字に、ぜひご注目ください。

図書館にコーナーを設けています♪



## ビブリオバトル県大会

### 佐藤さん決勝戦出場！

11月8日に県立図書館で第6回高校生ビブリオバトル大分県大会が開催されました。本校からは、2年4組菅祐斗さん、2年3組佐藤咲希さんが出場しました。佐藤さんは決勝戦に進出し、発表者26名のなか、上位5名に入賞しました。

大きな舞台上、堂々と発表をしてくれました！



#### \*2年3組佐藤咲希さんのコメント\*

予選での順番が3番目だったので、ある程度緊張はほぐれましたが、すごく緊張しました。私が紹介した本は、『スガリさんの感想文はいつだって斜め上』（平田駒／著、河出書房新社、2019年）です。スガリさんの感想文がツッコミどころ満載で、楽しみながら読めます。



#### \*2年4組菅祐斗さんのコメント\*

予選突破できませんでしたが、他のバトラーから学ぶものがたくさんありました。また挑戦したいです。私が紹介した本は、『大友の聖将』（赤神諒／著、角川春樹事務所、2018年）です。大分県民もあまり知らない、大分の歴史上の人物や逸話に触れることのできる、感動の一冊です。



# ミヒャエル・エンデ ~ファンタジーの世界~

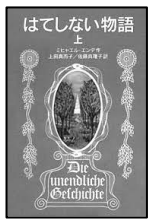
ミヒャエル・エンデとは・・・

1929年11月12日生～1995年8月28日没。ドイツの小説家。父親はシュルレアリスムの画家エドガー・エンデ。『ジム・ボタンの機関車大旅行』でドイツ児童図書賞、国際アンデルセン賞を受賞。世界中で愛されるファンタジー作品を遺しています。



## 『はてしない物語 上・下』

(ミヒャエル・エンデ／著、上田真而子・佐藤真理子／訳、岩波書店／発行、2000年)



学校ではいじめられ、家では母親が亡くなり、父親とは心の距離がある。自分自身のことは、好きではない。そんな少年が、読みふけていた本の世界に入り込み、英雄となるのですが…。不朽の名作です。

## 『モモ 時間どろぼうとぬすまれた時間を人間にとりかえてくれた女の子のふしぎな物語』

(ミヒャエル・エンデ／著、大島かおり／訳、岩波書店／発行、1976年)



せわしない現代において、人間が人間らしく生きる時間とは？ 本当の豊かさとは？ 大切なことを思い出させてくれる物語です。

## 『鏡のなかの鏡 - 迷宮 - 』

(ミヒャエル・エンデ／著、丘沢静也／訳、岩波書店／発行、1985年)



著者が自身の父親が描いた絵から着想を得た30の物語。他の作品とは一味違い、ダークで終わりのない世界です。最後まで読んだとき、物語の綿密さに驚嘆するでしょう。

## 『ファンタージェン 秘密の図書館』

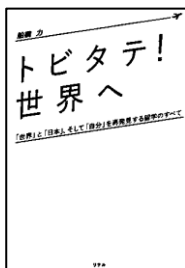
(ラルフ・イーザウ／著、酒寄進一／訳、ソフトバンククリエイティブ／発行、2005年)



エンデを尊敬する複数の作家たちが、『はてしない物語』で主人公が入り込んだ本の世界を描くシリーズの第1作。エンデが亡くなった後も、彼の創った世界は引き継がれています。

# トビタテ！ 世界へ

文部科学省官民協働海外留学創出プロジェクトチームより、本を1冊いただきました。留学促進キャンペーン「トビタテ！留学 JAPAN」について、その創設の経緯や実際に海外留学した学生の活動などがまとめられています。



『トビタテ！世界へ』  
(船橋力／著、リテル／発行、2019年)

この他、図書館には世界の国や文化に関する本がたくさんありますよぜひ、ご利用ください☆

## これながみきお 是永幹夫さんおすすめの本

先日開催された川端康成記念講演会で講師をしてくださった是永さんのおすすめの本です。図書館に置いているので、ぜひ、読んでみてください♪

- 『ロマン・ロラン全集 18 社会評論集』  
(ロマン・ロラン／著、宮本正清ほか／訳、みすず書房／発行、1959年)
- 『ジャン・クリストフ 1～4』  
(ロマン・ローラン／著、豊島与志雄／訳、岩波書店、1986年)

「高校生に薦めたい本は何かですか？」と質問した生徒がいました！ すばらしい～☆

